

1. 保健科学部

1) 受入方針

本学部は、学園の建学の精神を基盤として、「人間性」「国際性」「学際性」を有し、高度な専門能力を備えた医療人を育成することを「教育目標」としている。この目標を達成するために、ディプロマポリシー並びにカリキュラムポリシーを定め、更に入学者の選抜について受入方針を定めている。

2) 求める学生像

本学の教育目標を達成するため、次のような学生を求めている。

- ①本学の建学の精神と教育理念を理解し、将来、医療人として社会に貢献することへ意欲を持つ人。
- ②基礎的学力を有し、入学後の勉学に粘り強く努力を続けられる人。
- ③明るい性格で、あらゆる人と積極的にコミュニケーションをとることができる人。

さらに、学部・学科による目指す将来と国家資格の違いから、各学科で次のような学生を特に求める。

A. 臨床検査学科

実験・実習を通じた旺盛な探究心と、生命現象や臨床検査に関する知識と技術の修得に熱意がある人。

B. 放射線技術学科

放射線を利用する医学的技術および画像診断などの放射線技術に強い興味を持ち、それらの知識と技術の修得に熱意がある人。

C. 看護学科

人間に対する深い愛情と洞察力をもつ看護師として医療に貢献したいと強く願う人。

2. 助産学専攻科

- ①看護学の基礎を修得し、特に母性看護学の知識が豊富な人。
- ②助産学の中で興味・関心のあるテーマを有する人。
- ③助産学の基礎となる母子に対する基礎的な看護技術を有する人。
- ④助産師になりたいという強い気持ちを持ち、生涯助産師を継続する意思を持っている人。
- ⑤コミュニケーション能力を有する人。

3. 大学院保健医療学研究科

岐阜医療科学大学は建学の精神「技術者たる前によき人間たれ」を基盤に据え、人間性豊かな、高度な専門能力を有する医療人育成を行っている。この精神を具現化すべく、教育目標として、建学の精神に示されている「人間性」に加え、グローバル化する社会の中で活躍する「国際性」、専門外の知識技術まで理解を深め、かつチーム医療の中での相互理解を深める「学際性」の3つを教育目標に掲げている。

岐阜医療科学大学大学院（以下「本大学院」という。）は、上記の精神と教育目標とを踏まえながら、保健医療学分野の専門教育をさらに進化・発展させ、地域保健医療における医療連携においてリーダーシップを発揮できる高度医療専門職を育成することを目的とする。

本大学院で目指す「人間性」とは、単に高い倫理性や人格形成といった観点のみならず、高度な専門的知識と理論的思考を有し、技術を経験のみに頼ることなく客観的かつ正確に行き届ける能力をも含む。「学際性」は、40年以上の歴史を有する本学が培ってきた多職種の教育実践にもとづき、各職種間での知識と考察方法を共有していく点に反映される。さらに「国際性」においては、国境のない医療科学という分野において積極的に世界の最新知識を取り入れ、自身の研究を発展させ、医療現場に還元するとともに世界に発信していくことを指す。

本大学院ではこのような教育目標のもと、専門分野における技術の理論化・体系化を行うこと、多様な職種間において知識・技術の補完と相互理解を行うことで優れた研究能力を身につけた指導的な専門的職業人を養成することを目指している。

本大学院が入学者に求める要件は、以下のとおりである。

- ①岐阜医療科学大学の建学の精神と教育目標とを十分に理解し、高度医療専門職として人類の健康増進に貢献する強い意志を有していること。
- ②保健医療学分野の研究と実践に高い関心を持ち、入学後の修学および研究活動に積極的に取り組む意欲を有していること。
- ③技術者・教育者・研究者としての向上心を有し、自立を志向する者であること
- ④学問に対する強い憧憬と知識欲を有する者。

入学者選抜にあたっては、保健医療学分野において国際的な視野に立ち、チーム医療実践において指導的な立場となる高度医療専門職養成の実現を目指し、年齢を問わず、また学生であるか社会人であるかを問わず上記の要件を満たす者を受け入れる。